

会 議 録

- 1 会議名 平成 28 年度第 1 回上越市スポーツ推進審議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 報告事項 (公開)
「上越市総合教育プラン」第 3 期実施状況
平成 27 年度スポーツ推進事業実施状況
平成 28 年度体育関係施策・予算について
 - (2) 協議事項（意見交換） (公開)
上越市スポーツ推進の今後の基本方針について
- 3 開催日時 平成 28 年 8 月 2 日（火）午後 2 時 00 分から 3 時 40 分まで
- 4 開催場所 上越市教育プラザ 研修棟 大会議室
- 5 傍聴人の数 0 人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者 氏名（敬称略）
委員： 榊原 潔、小野島恵次、上野裕文、上村 淳、今井英一郎、有澤真理子、
倉石義行、山岸由美子、白砂 弘、岡本猛男、松井和代、西澤 澄男
事務局： 高橋教育部長、佐藤課長、石澤参事、近藤係長、石田係長、佐久間生涯ス
ポーツ指導員
- 8 任命書の交付
教育部長より任命書交付
- 9 あいさつ

【高橋教育部長】

今年度新たに委員になられた方々に任命書を交付した。今後ご意見賜りますようお願い申し上げます。ご案内のとおり、上越市は平成 22 年に「いきいきスポーツ都市宣言」をし、スポーツに親しみ、さわやかな汗を流し、ふれあいの輪を広げ、元気あふれる上越市をつくりたいということで宣言をさせていただいている。この宣言に基づいて施策を展開しているところだが、「上越市第 6 次総合計画」や「上越市総合教育プラン」の位置づけの中で、様々な施策を展開しているところである。「上越市総合教育プラン」については今年度が最終年度となっており、29 年度から 34 年度までを「第 2 次上越市総合教育プラン」によって進めていくことになる。

この 5 日からはリオ五輪が開幕する。時差があり生での観戦は難しいところだが、日本人選手の活躍が期待されている。4 年後にはいよいよ東京五輪が開催される。皆様ご承知のように、ドイツ体操チームの合宿招致に向けて、プレゼンを行ってきた。10 月にはドイツの体操協会が現地視察に訪れる予定となっている。ぜひ、招致を実現し、上越市全体のスポーツ機運を高めていきたいと思っている。

本日は忌憚のない意見をいただきたいと思う。よろしくお願ひいたします。

【倉石委員長】

新年度に入りまして、それぞれの役職の交代に伴い、4名の方から新しい委員に就任いただいた。忌憚のないご意見、ご提言をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

暑い日が続いているが、多くのスポーツイベントが開催されている。皆様方におかれましては、大変お忙しい日々が続いているとは思いますが、28年度第1回上越市スポーツ推進審議会に出席いただき、御礼申し上げます。本日は、27年度の事業評価、28年度の重点施策についての説明、「第2次上越市総合教育プラン」策定日程について、忌憚のない意見をいただきたいと思う。よろしくお願ひいたします。

10 委員の紹介 自己紹介

11 議題

(1)「上越市総合教育プラン」第3期実施状況、平成27年度施策の事業推進報告及び評価について、近藤係長が資料1、2に基づき説明。

【榊原委員】

施策の柱③「スポーツ環境の整備」について利用団体が利用しやすい環境を整えるという点について具体的に教えていただきたい。

【佐藤課長】

今年度から年間利用という制度を取り入れている。今までは翌月までの予約を行っていたが、定期的に練習場所を確保するという観点から、市全体の体育施設、学校開放施設について、年間の予約を取り入れ、定期的に活動する団体の育成、活動支援を行っている。また、施設整備については、老朽化した施設が多い中で、計画的に施設の補修を進めているほか、フットサルの体育館利用が多いことから、フットサルの道具を板倉の体育館に整備した。

【榊原委員】

個人で使おうと思った場合になかなか使いづらいが、ある団体に所属させてもらうと使いやすいというのがあるのかなと思う。

【佐藤課長】

今年度から減免制度が変更となり、市の体育協会または総合型地域スポーツクラブに加盟している団体については、施設使用料の減免を受けることができるようになった。その周知をする際に、各団体を通じて、傘下の団体にも周知しており、減免の説明会の際にも、説明をさせていただいた。

【白砂委員】

ニュースポーツとは具体的にどんな種目があるのか。

【近藤係長】

カローリングやグラウンドゴルフなどがニュースポーツと呼ばれるものである。

(2) 平成 28 年度体育関係施策・予算、平成 28 年度重点施策について、近藤係長が資料 3 に基づき説明。

【上野委員】

施策の柱②競技スポーツの推進の「スポーツ活動へのサポート」について、学校側としては中学校の部活動等への指導者派遣については大変助かっている。しかし、昨年と比較して予算が減額されている。学校は専門性のある教職員が少なく、素人の教員を顧問にせざるを得ない状況であり、非常に助かっているが、この減額は昨年の活用実績に基づくものなのか。

【近藤係長】

昨年度は、学校側の要望をほぼ受けてきたが、その結果、多い学校と少ない学校があり、不公平感があるという認識もあり、公平を保ちたいとの考えから上限を設けさせていただいたため、予算を減額している。

【小日向委員】

施策の柱①生涯スポーツの充実の「スポーツ推進委員の活動促進」について、適正に配置されているか。また、予算が減額されている理由を教えてください。

【近藤係長】

スポーツ推進委員は 22 中学校区に 1 校区 3 人を基本に公募によって委嘱している。これまで出前講座や体力測定会を委託で実施していたが、事業の見直しを行い、今年度より受益者負担となったことから市の予算は減額となっている。

【倉石委員長】

合併前上越市と旧町村のスポーツ推進委員の率は、何対何になっているのか。区と旧市内でやっていることの割合はどうなっているのか。ざっと見ると、旧市の推進委員が多く、人数に差があるように見えるが、13 区の割合はどうなっているのか。また、活動について、市と旧町村の活動割合はどうなっているのか。

【近藤係長】

13 区についても 1 中学校区に 3 人となっている。

【倉石委員】

活動の割合はどうなっているのか。

体育測定会とか、派遣の旧市と町村との割合はどうなっているのか、おおよそでよい。

【近藤係長】

正確な資料はないが、体力測定会については、全ての区で行っている。

【佐藤課長】

内容によって、多くの推進委員に係るものと、個人に係ってくるものがある。個人の技量の差もあり、今年度はスポーツ推進委員の資質向上と指導レベルを合わせるために、研修会を実施している。先日カローリングの講習会を行った。

また、経験の少ない人が経験豊富な方と一緒に出前講座に行くということも行っており、スポーツ推進委員の育成にも取り組んでいる。

【山岸委員】

地域で行われる運動会や地域の大会等にも、スポーツ推進委員が行くこともある。市との協働事業で、昨年一昨年はスポレック、今年度はカローリングの教室を行っている。ニーズに合わせて支援できるような、地域に合わせた指導に取り組んでいる。

【倉石委員長】

スポーツ推進委員が講師となって、教室や講座でスポーツ活動を行う取組はよいと思う。その取組が、クラブ等への組織化につながるような仕組みがなく、参加した人たちがただやっているだけとなっている。5年後には組織化しましょうというような、そういった施策も考えてほしい。

(3) 第2次上越市総合教育プランの策定日程について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料4に基づき説明。

質疑応答なし。

(4) 今後の予定について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料5に基づき説明。

質疑応答なし。

(5) その他

ジュニア選手層の育成強化に関する現状と課題について、近藤係長から説明。

質疑応答なし。

【白砂委員】

ジュニアトップアスリートについて、2020年東京オリンピックと同様にパラリンピックも開催されるが、障害があるアスリートへの政策がない。

【佐藤課長】

障害者スポーツについては、障害によって細かくクラスが分けられており、補助が難しい。福祉課は関係団体と交流をしているが、具体的な支援はしていない。しかし、今年度の北陸地区スポーツ推進委員研修会では、障害者スポーツの一つであるシッティングバレーの講習会が行われた。今後、スポーツ推進委員としても、障害者スポーツに取り組むつもりであるが、選手強化については、具体的に取り組んでいない。

また、市では、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、障害者スポーツのボッチャとシッティングバレーを事前合宿の候補としてあげている。

【小野島委員】

小・中学生までは一貫した指導ができていたが、設置者の違いから、高校に入学すると高校の指導者との連携が少なくなる。市内の高校の指導者に生徒を育成してもらおうという視点から、担当者に対して上越市の政策を説明してほしい。高体連は県の組織であり、

市内や地区の組織がないため、年数回、市内の高等学校の指導者への説明やアンケートを実施していただきたい。

【倉石委員長】

体育協会では6種目を指定してスポーツアスリートを育成している。体操競技やバレーボールなどで全国大会に行くなどの成果を上げている。小中高一貫指導システムの運用を強化していく必要がある。

【佐藤課長】

中学までは市内で育てて、高校に入ると県内外の有力校に行ってしまう。高校生も市内で育てていく体制が組めないかと検討しているところであるが、上越総合技術高校のバレーボール部の新井選手は、小中高と地元でバレーボールを行い、今回オリンピックの強化指定選手に指定されたところである。

【松井副委員長】

総合型地域スポーツクラブは、地域にスポーツをする場所を提供している。将来的には、各中学校単位で一つ設立したい。総合型地域スポーツクラブには、発言の場や財政を含めた行政支援が必要である。

【倉石委員長】

総合型地域スポーツクラブが設立され、発展していくために、市はどのような支援をするのか。

【佐藤課長】

先ほどもご説明したが、総合型地域スポーツクラブに加盟している団体については、施設使用料の減免を受けることができるようになった。現在13区の中には総合型地域スポーツクラブがない区もある。しかし、中には総合型地域スポーツクラブの設立を考えている区も出始めている。

【倉石委員】

県内でも優良な経営を行っている「くびき」がある。なぜ、優良な経営を行っているか、調べてみる必要がある。2020年東京オリンピック・パラリンピックや総合型地域スポーツクラブについて、ぜひ考えてほしい。

1 2 閉会の挨拶

【松井副委員長】

本日は慎重審議をしていただいた。5日からリオオリンピックが始まる。私は見るつもりでいる。出場している選手が主役だが、陰で選手を支えている人がある。いろんなところで、スポーツは幸せだと感じてほしい。スポーツをしている人が、していない人を誘い、絆が深まってくればよい。ご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。

1 3 問合せ先

教育委員会体育課スポーツ振興係

TEL : 025-545-9246 (内線 1330)

E-mail : taiikuka@city.joetsu.lg.jp

1 4 その他

別添の資料も併せてご覧ください。